

今年のNHK大河ドラマは紫式部が主人公の「光る君へ」でした。源氏物語は原文では断片的にしか読んでいませんが、現代語訳や解説本はよく読んでいます。

皆さんは、源氏物語を代表する女性3人を選ぶとしたら誰を選びますか。小生が選ぶ源氏物語を代表する女性3人は、いちばん最初に登場する「桐壺更衣」、源氏が最も愛した「紫の上」、物語の最後に登場する宇治十帖のヒロインの「浮舟」です。今回は、その中でも「桐壺更衣」と「浮舟」の2人の女性を紹介します。

ところで、当時の理想の女性論とはいかなるものだったのでしょうか。第二帖「帚木」の「雨夜の品定め」をご紹介します。平安時代の物語ですので、男尊女卑や一夫多妻制、通い婚、夜這いなど現代の感覚からすれば、違和感も強く不適切な内容もありますが、そこら辺を考慮して以下をお読みください。

梅雨に降りこめられて内裏に閉じ込もっている光源氏、頭中将、左馬の頭、藤式部丞の青年たちが退屈のぎに理想の女性像を論議しあう。そこで話題となったのが三品説です。

「上の品、つまり上流階級の女たちはまわりについている女房がうまいこと欠点を隠してくれるのだし、下層階級（下の品）となれば話にならない。だから中ぐらいの階級の女、中の品にこそ面白みがある。」

こうゆう話を聞いた源氏は、雨が上がってから、「空蝉」、「夕顔」と中の品の女たちと関係を持ちますが、二人とも源氏のものとはなりません。いくら中の品（紫式部自身も入る）が良いといっても、やはり源氏の連れ合いには上の品がお似合いなようです。ここで、源氏と関係があった女性は何れほどいたのかみてみますと、名前のはっきりしている女だけで「藤壺中宮」「六条御息所」「花散里」「紫の上」「葵の上」「空蝉」「軒端の萩」「夕顔」「末摘花」「朧月夜」「明石の君」「女三の宮」です。その他、お付きの女房など数多くと交わっています。

では、小生が一番目に挙げた女性「桐壺更衣」について、第一帖「桐壺」の出だしをみてみましょう。

「いづれのおほん時にか、女御更衣あまたさぶらひたまひけるなかに、いとやんごとなきにはあらぬが、すぐれて時めきたまふ、ありけり」（どなたさまの御代であったか、女御や更衣が大勢お仕えなさっていた中に、たいして重い身分でもなくて、めだってご寵愛の厚い方があった）と、桐壺更衣と桐壺帝の関係から始まります。その桐壺更衣は、他の多数の女たちの恨みを買ひ、やがて病に衰弱して宮中を離れるのです。そしてそれが桐壺帝との永遠の別れとなってしまいます。

「限りとてわかるる道のかなしきにいかまほしきは命なりけり」（今や命の限りが尽きて死出の道へとわかれることのかなしさに、行きたかった道は命のある方だった。生きていたい）。源氏物語の最初の和歌です。

源氏を読めば決して、ルッキズム（外見や身体的な特徴で人を評価したり、判断したりすること）の世界ではなく、当時の上品の人々の深層に強く訴え、いまでも普遍性を持っています。

最後に登場する「浮舟」は、薫君と匂宮との三角関係に疲れ果て川に身を投げます。その後結局は横川の僧都に助けられ、失踪後1年で消息が分かります。そして、再会を楽しみにしている薫君の話で終わります。

「身を投げし涙の川のはやし瀬をしがらみかけて誰かとどめし」（涙にくれて身を投げた川の早瀬から、誰がしがらみをかけて救ってくれたのだろう）浮舟【第五十三帖：手習】物語の最後は少し尻切れトンボのような感じですが、このエッセイも紙幅の関係で終わりにします。

次回は、「紫の上」についてお話しします。



～理想のクリスマス&お正月の過ごし方～

クリスマスにはフィンランドへ行って、  
サンタさんと共にお祝いをし、お正月は  
日本で家族と温泉につかり、美味しいも  
のを食べてゆっくりと過ごしたい。

家でゆっくり。適度な賑わいの初詣。

長期休暇がもらえたら海外旅行に行  
ってみたいです。

年末年始、国立競技場でサッカー観戦。

いつかはドイツに行ってみたくので、  
クリスマスからお正月までのんびりと  
違う景色を見て過ごしてみたいです。

クリスマスは友達と韓国へ行き、お正  
月は実家で家族と過ごしたいです。

クリスマスは1日ディズニーランドで楽し  
んだ後ミラコスタに宿泊して、お正月はハ  
ワイに行ってゆっくり過ごしてみたいで  
す。

学生時代の友人グループで家庭のある  
子ども多いですが、子供も含め全員で集  
まってにぎやかに過ごしたいです

ディズニーランド&シーでミッキー&  
ミニーと一緒に踊り、ハッピーニュー  
イヤーをホテルミラコスタで過ごした  
い!!

クリスマスはアメリカのディズニーへ行き、  
移動して正月はハワイで過ごしてみたいです

プライベートジェットに乗って、世界各国のクリ  
スマスとお正月を堪能。美味しいお酒もたくさん  
飲みたい♡

クリスマスはパートナーとイルミネーション  
見た後に、美味しいご飯を食べて、家でゆっ  
くり過ごしたいです。正月は実家に帰り、家  
族と猫とこたつでゆっくり過ごしたいです

元旦は母が作ってくれたお節料理を姉、妹と  
試行錯誤しながらお重に詰めます。楽しみ  
に待つ家族のもとへ運ぶと母がせっせと作  
ったお節は一瞬にしてなくなります！ 家  
族全員が揃う賑やかな日、私にとって理想  
のお正月で